



# 陳 情 一 覧 表

平成 29 年 9 月盛岡市議会定例会（平成 29 年 9 月 21 日）

受理 番号	受理年月日	陳 情 の 要 旨	提 出 者
3	H29. 9. 12	農業用水の保全を求める陳情	 生出地区合同水利組合 

## 農業用水の保全を求める陳情

### 陳情趣旨

生出地区は古来より生出湧水を利用して稲作栽培を行い、生計を立ててきました。

その後、淡水魚の養殖事業が始まり、湧水は多面的に利用されてきました。昭和40年代にコメの減反政策が始まり、水田は転作させられ、農業用水は縮小させられ今日に至っております。

そして簡易水道事業が始まり、減反政策と相まって湧水の均衡がとれていました。

しかし、昨今の農業政策の変更により減反が廃止され、水田は稲作に復帰せざるを得なくなりました。

一方、水道事業は開始時より数倍に使用料が膨らみ、更に湧水と直結した井戸から取水するに至り、湧水の流量は減少し農業用水の不足は顕著になっています。ここに、水源地から無制限に取水している水道局に対し、節度ある取水と長年利用してきた農家との間で、湧水の有効利用の協定締結の必要が生じています。

### 陳情事項

- 1、 農家は農業政策と公営水道事業により農業用水の維持確保が棄損されています。

ここに、市議会より水道局に対し、水源の利用協定の締結について指導されることを求めるものです。

平成29年 9月 8日

提出者（代表） 生出地区合同水利組合

住所

氏名

電話

盛岡市議会議長 天 沼 久 純 様

